

**ESDのためのKODOMOラムサール<チェンマイ>国際湿地交流**  
**～持続可能な地球のために、みんなで湿地をサステイナブル～**  
**参加者募集要項**

1. 趣旨・目的

ラムサールセンターの「ESDのためのKODOMOラムサール」活動は、生物多様性豊かな湿地をフィールドに、日本とアジアの子どもたちが「持続可能な地球のためになにができるか」を学び、行動していく国際子ども湿地交流プログラムです。

これまで「日本・中国・韓国子ども湿地交流」、「KODOMOラムサール」、「KODOMOバイオダイバシティ」と日本のラムサール条約登録湿地の子どもたちを中心につづけてきた湿地交流活動をさらに発展させ、日本政府の提唱で国連が推進する「ESD（持続可能な開発のための教育）の10年」運動を支援する事業として、地球環境基金の助成をうけて実施します。

アジアの子どもたちとの交流をとおして、湿地保全への取り組みをフィールドでの実践活動として学習し、「持続可能な社会を実現するために行動できる」子どもたちを育てることを目標にしています。

環境省、積水化学工業、ウェットランドインターナショナル中国やインド環境協会などのNGO、チェンマイ大学やマヒドン大学、日本の環境教育の専門家などと協力して活動に取り組み、「国連ESDの10年」のゴールとなる2014年の国際ESD会議（日本開催）への貢献をめざします。

今回の「ESDのためのKODOMOラムサール<チェンマイ>国際湿地交流」は、今年度最後の主要な活動で、タイ北部の水の都、チェンマイ市を舞台に、「水環境」をテーマに開催します。チェンマイ大学の協力をえて、地元の小・中・高校生と一しょに、水の大切さを考え、「持続可能な水環境を実現するにはどうするか」を討論します。

現在、タイのアユタヤやバンコクに洪水を引き起こしているチャオプラヤ川の上流部を訪ねたり、山地民族のアカ族との交流もおこないます。

「KODOMOラムサール」プログラムと並行して、タイ、ネパール、日本などの専門家を講師にしたファシリテーター研修プログラム「ESDセミナー」（1月6日）も開催します。

2. 概要

◆期 日：2012年1月5日（木）～10日（火）＊5泊6日（1泊機中）

◆開催地：タイ・チェンマイ

◆会 場：チェンマイ大学理学部

チェンマイ周辺のフィールド（チェンマイモート、ピン川など）

◆主 催：ラムサールセンター（RCJ）、チェンマイ大学

ESDのためのKODOMOラムサール実行委員会（RCJ、積水化学工業ほか）

◆協 力：積水化学工業株式会社

◆助 成：環境再生保全機構地球環境基金

チェンマイ（タイ）について

バンコクの北720kmのタイ第2の都市チェンマイは、チャオプラヤ川の4大支流の1つ、ピン川のほとりの美しい「水の都」です。モン族やタイヤイ族、アカ族、ビルマ族などさまざまな民族、文化が交流し、建築、仏像、言語、料理、工芸などでタイ北部独自の文化・伝統を守って人々はくらししています。周囲は1000m級の山々からなる緑豊かな山岳地帯です。

### 3. プログラム (予定)

#### 1日目 1月5日 (木)

成田空港からバンコク国際空港へ。バンコク国際空港からチェンマイへ飛行機で移動  
チェンマイ泊

#### 2日目 1月6日 (金)

午前 自由時間

午後 ・ファシリテーター研修「ESD セミナー」(希望者のみ)

講師：佐藤真久(東京都市大学准教授)、ビシュヌ・バンダリ(ネパール湿地協会  
会長)、サンサニ・チョウユ(マヒドン大学助教授)、藤倉まなみ(桜美林  
大学教授)ほか

・子どもたちは、市内観光。

#### 3日目 1月7日 (土)

国際湿地交流

午前 基調講演：北方タイにおける水生生物と環境問題

**Sampan Singharajwarapan** (チェンマイ大学理学部学部長)

招待講演：「チェンライ県アカ・サンスック村の水環境活動」

**Teerawat Pitakpraisri** (アカ・サンスック村リーダー)

昼 アカ族のパフォーマンス

午後 フィールド学習「チェンマイの水環境(チェンマイモート、Mae Kha 運河、ピン川)」  
歓迎夕食会

夜 KODOMO 交流プログラム①

ファシリテーター 中村大輔、ジェームズ・マックギール

#### 4日目 1月8日 (日)

午前 KODOMO 交流プログラム②

活動発表

午後 KODOMO 交流プログラム③

「持続可能な水環境を実現するために私たちができること」

グループディスカッション

グループ発表、ディスカッション

閉会式

#### 5日目 1月9日 (月)

午前 チェンマイ市内の学校訪問、交流プログラム

午後 チェンマイ空港からバンコクへ。

機中泊

#### 6日目 1月10日 (火)

朝 成田空港着

#### 4. 募集対象、人数

ラムサール条約登録湿地などで活動している、湿地に関心のある小学生（5年生以上）～高校生。  
定員 10 人。 ※応募者が多数の場合は選考します。

※今回は引率者の募集はしませんが、ファシリテーター研修生として、若干名の大人の参加者を募集します。6日のファシリテーター研修後、7～9日のKODOMOラムサールプログラムに、オブザーバーとして参加します。

#### 5. 費用

- (1) 子ども：参加費 60,000 円（国際交通費、現地での滞在費ほか）  
成田空港までの国内交通費（前後泊の宿泊費も）は原則自己負担です。
- (2) ファシリテーター研修参加者：チェンマイまでの旅費は、自己負担となります。  
※プログラム中の滞在費は主催者が負担します。

#### 6. 出発・到着

全員、成田空港を利用します。

#### 7. 参加の条件

- (1) 自然環境とボランティア活動に関心をもち、積極的に交流でき、行動できること。
- (2) 身近にある湿地の情報をみんなに伝えたい、アジアの湿地のこと、湿地の生きもののことを知りたい、学びたいと思っていること。
- (3) イベント終了後、1か月以内に簡単なレポートを提出すること。
- (4) イベント開催中の怪我や事故などについては、原則として自己管理、自己責任です。この点を理解、了承すること。
- (5) 保護者の了解を得ること。
- (6) エコクラブやNGOなどの団体に所属して活動している子どもは、団体の了解も得ること。

#### 8. 応募方法

参加希望者は、募集要項を確認して、添付の「応募用紙」と「参加したい理由（できるだけ具体的に）」に記入し、ラムサールセンター事務局まで、郵送・FAX・メールで申し込んでください。  
ファシリテーター研修参加希望の方も「応募用紙」に記入し、同様に申し込んでください。

#### 9. 応募締切 2011年11月22日（火）

#### <参加申し込み・お問い合わせ>

ラムサールセンター 担当：中村玲子（なかむられいこ）・渡辺美沙（わたなべみさ）

〒146-0084 東京都大田区南久が原 2-10-3

TEL :03-3758-7926 FAX :03-3758-7927 E-mail:ramsarcj.nakamura@nifty.com